

イ 高麗山ハイキング(大磯側コース)

評価した人数 7名(東海大学3名、文教大学3名、当センター職員1名)

評価実施日 11/16、19、22、23(3名)、12/5

高麗山ハイキングは、初めて 全員(7名)

*評価項目中、ゴシック下線で表記されている回答は複数回答である。

評価項目1 コースが掲載されている「大磯観光ガイドマップ」について

概ねわかりやすい(3名) 少しわかりにくい(3名) わかりやすい(1名)

【よかった点】

- ・ マップを見ずに最初から最後まで行けた。マップには様々なコースが設定されていてよい。
- ・ 色によるコース表記、距離、時間、対象年齢も詳しく記入され概要を知ることができた。
- ・ 飲食店等の情報があるのは、非常に分かりやすい。

【気になった点】

- ・ コースの説明が少し足りない。
- ・ 地図が大きすぎて何度も何度も開くのが大変。
- ・ コース全てが点線で表示され、色のみで分けているのは非常に見づらい。
- ・ 地図上では、1本道でも、実際は分かれ道というのが何箇所もあった。

【提案など】

- ・ 季節の情報やコースの代表的な景観を写真を貼り付ければイメージもつきやすい。
- ・ 休憩所やトイレ、入り口の場所や風景の写真を入れる。
- ・ 地図内のコース表記の色がもう少しわかりやすい色なら更によい。
- ・ 地図に目印となるものをもっと書いてほしい。
- ・ 山に入るまでのコースがわかりにくかったので、コースごとにマップを作るとよい。

評価項目2 「高麗山・湘南丘陵コース」の案内表示について

少しわかりにくい(4名) 概ねわかりやすい(3名)

【よかった点】

- ・ 指の向きで方向を指している看板が随所に配置されていてわかりやすかった。
- ・ 自然の中で目立ち過ぎないので、周辺の雰囲気壊していない。
- ・ 湘南平までの山道は、適所に案内表示があった。

【気になった点】

- ・ もう少し詳しい標識や看板が古く、読みにくかったので、新しいものに変えたり、数を増やした方がよい。
- ・ 男坂の入り口、男坂と女坂の分かれ道が分かりづらい。男坂を歩いたが、高来神社から高麗山までの案内表示が少ない。
- ・ 男坂を歩いたが、高来神社から高麗山まで案内表示が少ない。
- ・ 寄り道で旧安田邸周辺を歩いたが、大磯寮から山道に入る所では、案内表示もなく、階段も埋もれているようで、近所の人に聞かないとまったく分からなかった。石碑等は結局、発見できなかった。

【提案など】

- ・旧安田邸周辺の階段横にはせめて案内表示がほしい。

評価項目3 「高麗山・湘南丘陵コース」の歩きやすさについて

概ね歩きやすい(4名) 少し歩きにくい(3名)

【よかった点】

- ・ベンチや階段が多めに設置されていた。
- ・落ち葉が雰囲気醸し出していた。

【気になった点】

- ・男坂は結構急であるため、高齢者には歩きづらいかもしれない。
- ・高麗山から湘南平までの道では、1箇所、木が狭い道の真ん中に生えており、更に片側が崖であるといった場所があったが、そこ以外は特に危険性は感じなかった。
- ・寄り道で旧安田邸の周辺の大磯寮からの山道は、人が歩くのを想定していないかのような道であった。そこを登っている時が一番怖かった。
- ・凹凸がなく登るのが難しい場所があった。小さい子供にはきついのではないかと感じる場所もあった。
- ・木製の階段はすべる所があり、危険であった。
- ・コース横に木の柵のようなものが金具が錆びてもろかった。何のためのものなのか。
- ・落ち葉により、道が滑りやすくなっていたため、危険と感じる場面が何度かあった。男坂などが想像以上に急な傾斜であった。
- ・山を歩いた経験はあるが、岩肌が出ている所が多くて、雨の日は危険だと思った。
- ・整備はされているが、途中、崩れていたり、道がほとんど木に占領されていて危険であると思った。
- ・これ以上整備すると利便性は高まるが、環境への負荷もかかり、ハイキングらしさがなくなる。

【提案など】

- ・女坂でもきつかった。初心者にはもう少し、緩やかなコースが欲しい。
- ・途中にトイレがあるとよい。
- ・危険情報のコース入口での看板で呼びかけや、雨天時の登山者や登山者の年齢制限は必要である。

評価項目4 コースを歩いてみて、魅力的と思ったものについて

【よかった点】

- ・大木などが素晴らしい。海と紅葉が一望できるという贅沢を味わえるのは、他地域にも引けをとらないアピールポイントである。
- ・半日で少し本格的な登山ができる点。バス等で帰ることもでき、初心者にも安心してもらえる。
- ・都心からも近く、海や富士山が見えるので景観が優れている。
- ・旧東海道の松並木の風景を見ることができ、リラックスして高麗山へ登ることができた。どんぐりなど季節を感じられたり、木に囲まれた頂上は、日常とは違う雰囲気でもとてもよかった。
- ・紅葉の時期で景色にとっても魅力を感じた。また、高さを感じるコースであったため、見晴らし

もよかった。

- ・湘南平に着き、視界が開けた時に、とても達成感を感じた。湘南平からの景色も美しく、また、見に行きたくなる。所々に説明表示があり、それを読むのも楽しめた。一つのコースで街と山の景色両方が楽しめ、非常に興味深かった。
- ・右に平野、左に海や電車が見えるのはとてもよい。朝日に照らされた高麗山も非常に綺麗である。
- ・きつかった分、頂上についた時の景色や風の心地良さには大変感動した。頑張って登って来た実感でき、リフレッシュできた。

【提案など】

- ・途中は木が生い茂っていて全く景色が見ることができないということを逆手にとって、景色は最後の最後までお楽しみということを PR できる。

評価項目 5 「高麗山ハイキング」の改善点について

- ・本格的な登山者ではなくとも若い人は気軽に登れると感じたので、初心者向けに整備を行なった方が利便性も高まる。
- ・湘南平の他に、見晴らしの良いスポットがもう少し、多いとよいと思った。
- ・柵の鎖も錆びて、斜めになったりして頼りなかった。

【提案など】

- ・どのくらい登ったか下の景色がとても気になったが、木に塞がれて景色が十分に見られなかった。伐採せずとも、枝を切るなどで工夫できないだろうか。
- ・ハイキング専用の詳細なパンフレットがあるとよい。季節によって見所も違うので、季節の情報や危険箇所を載せる。
- ・標識よりも地図を途中に設置した方がよい。
- ・崩れている所や倒木などの整備をする。
- ・分岐点には、案内表示を置いてほしい。
- ・手すりの数もわずかであるため、もう少し、手すり設置の場所を増やした方がよい。
- ・安田邸周辺の大磯寮からの山道は、入り口も分からず、途中も危険で、観光スポットを探す余裕もなかったのが改善してほしい。

評価項目 6 「高麗山ハイキング」を外国人観光客にアピールするために必要なことについて

- ・看板の英語表記は必要である。外国人専用のピラなどもよい。
- ・案内表示、説明表示やガイドマップの外国語表記が必要である。
- ・知名度を高める。
- ・プロモーションビデオの配信。
- ・地図が一番、有効だと思う。
- ・外国人が頻繁に読む雑誌やアウトドア向けの雑誌に掲載してもらう。
- ・日本人よりも外国人の方が体力を使った旅を好むので、もっと、PR (FACEBOOK、INSTANGRAM、TWITTER) する。
- ・気軽に登ることができ、山並みは勿論、海も眺めることができる。この景色の良さをアピールするべきである。

- ・道の途中にアトラクションがなく、ただの道になっている。

評価項目7 「高麗山ハイキング」のリピーターを増やすために必要なことについて

- ・季節による景色の変化等をアピールする。高麗山や湘南平だけでなく、コース全体の変化をガイドマップや説明表示等で紹介する。
- ・紅葉の状況、イベント、写真撮影スポットなどの日々、情報発信をする。
- ・頂上の爽快感を味わってもらうために、もっとベンチなどを増やす。
- ・ゴミなどが落ちていなかったため、これからもその清潔さを継続していく。
- ・登りやすく、お金もかからず、気軽に利用できるので「体力づくり」の一環としてのイベントなどを取り入れる。
- ・毎月イベントを行なう。（頂上での食事会（カレー）、日の出を見よう、焼きものをしよう、森の中の音楽会）

自由意見

- ・登山は、山ガールをはじめ、ブームだと思うのでターゲットを絞ったPRが重要である。
- ・以外に高齢者や子供が多く見られた。運動としてもハイキングは人気であると感じた。
- ・サイクリングは海沿いの道を想定しているが、ハイキングは逆に山側を歩くことになるので、サイクリングとハイキングを連動させて観光客を誘導する。
- ・絵はがきも景色や魅力を紹介できる。
- ・HPに載っているコースがハイキングコースに載っていないので改善してほしい。
- ・アトラクションがないので工夫してほしい。
- ・休憩ポイントを増やす。階段に手すりをつける。

特記事項（特に気づいた点）

- ・一番よかった点は、登山者同士の挨拶である。必ずといっていいほどすれ違う人が挨拶をした。登山でもこんなに挨拶をするのかとは思わず、驚いた。
- ・子供連れも多く、安心できる山である。
- ・頂上の高麗山の説明の看板の文字が削れていた。これでは、読みたくても読めない。
- ・ハイキング等のコースや観光情報を載せた「大磯観光アプリ」のようなものがあれば便利である。